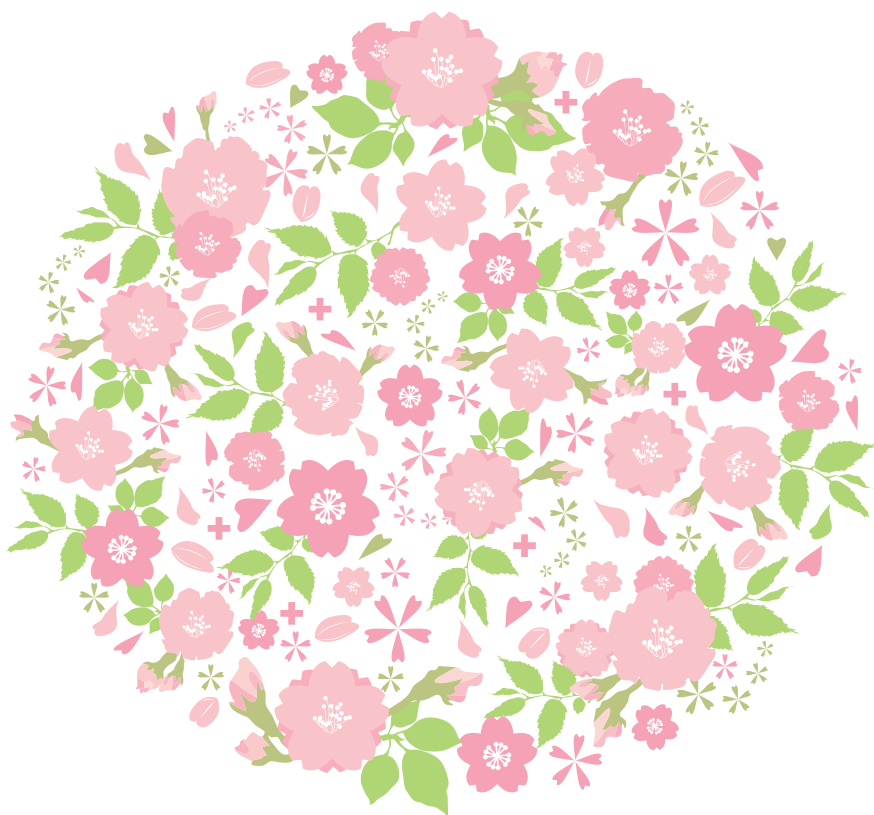


NT

NISSEKI TOKYO

2018
Spring
Vol.17



特集

地域を支えるチカラ

～まちづくりの栄養素はやさしい気持ち～

- 04 行け!OLレポーター オカモト★ 赤十字大解剖 —vol.11 アンリー・デュナン編—
- 06 れっどくろず News&Topics
- 08 子どもたちの健やかな成長を願って —「赤十字子供の家」がリニューアル—
- 10 平成30年度事業計画 —Keyword「地域」—
- 特集**
- 12 **地域を支えるチカラ**
—まちづくりの栄養素はやさしい気持ち—
- 20 Hospital Referral
武蔵野赤十字病院／大森赤十字病院／葛飾赤十字産院
- 23 献血 NEWS
- 24 福祉施設 NEWS
- 25 国際 NEWS
- 26 赤十字Supporters
- 27 活動資金協力者(社)・団体ご紹介
- 28 プレゼント
- 30 Rediscovery TOKYO —第10回 小金井市・小金井公園—

NT
NISSEKI TOKYO

Vol.17
2018年4月発行

バックナンバーは
こちらからお読み
いただけます。



■発行・編集・デザイン／日本赤十字社東京都支部

〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 Tel:03-5273-6747 (総務部企画課直通)

※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転写(コピー)、複製(転載)を禁じます。

※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みます。その後の内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承ください。

ホームページ：http://www.tokyo.jrc.or.jp/

Facebook：https://www.facebook.com/redcrosstokyo/

年4回発行(4月・7月・10月・1月)

日本赤十字社東京都支部にご寄付いただいた方に郵送でお届けしているほか、都内の赤十字病産院及び献血ルーム・献血バス等の献血会場でも配布しています。

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社では、5月を「赤十字運動月間」として、広く国民の皆さまに赤十字思想や活動を知っていただくとともに、赤十字活動資金の募集を行っています。これは、5月8日が赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕日(世界赤十字デー)であり、5月1日が日本赤十字社の創立記念日であることにちなんだもの。いただいた活動資金は、地域福祉やボランティア活動、災害発生時に自治体や地域住民の方々と協力して救護活動を展開するなど、地域と密接な関わりをもった活動に役立てています。

特設サイト <http://jrc-tsudukeru.jp/> 2018.4.1 OPEN

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。



9,785回

日本赤十字社は、つづける。

1877年 西南戦争

1923年 関東大震災

1985年 御巣鷹山航空機墜落事故

1995年 阪神・淡路大震災

2011年 東日本大震災

はじめて救護を行った西南戦争以降、
さまざまな災害や事故の現場に9,785回、
救護班を派遣してきました。^{※1}
こうした活動は、皆さまの会費とご寄付によって支えられています。^{※2}
皆さまのあたたかい想いと共に。

これからも、つづける。
人を救うことを。

救うことを、つづける。

※1 日本赤十字社が設立以来の災害救助活動の総数。/平成30年1月1日現在



※2 日本赤十字社の活動に、義援金は一切使われていません。
皆さまからいただいた義援金は、全額被災された方々に届けられています。

日本赤十字運動月間 5月

1864

赤十字条約（ジュネーブ条約）正式に成立

戦場で負傷兵の救護者は攻撃せず、保護すること。
負傷兵は、敵味方の区別なく救護すること。

この条約で、上のことが決まりました。

1863

五人委員会 設立

デナンの祖国スイスの人達の功績を記念した白地に赤十字のマーク。

戦争による負傷者を救護するための常設の国際委員会がジュネーブにて設立されたんだ！

同じ年に開かれた国際会議で赤十字の設立を決定し、印も決まったんだよ。

そして、私はナポレオン三世に会うためにフランスへ向かいました。

一人でも多くの医師を送るために、捕虜にはたて医師たちの釈放をお願いするつもりでね。

数日後

よし、彼の提案を取り入れよう。

行け！オリンピック★赤十字大解剖
- Vol.11 アンリ・デュナン編 -

1828年5月8日のスイス生まれ！

赤十字の創始者アンリ・デュナンの誕生日なんだ！

5月は、この赤十字の歴史を教えますよ！

今日、今や191の国と地域にある赤十字の歴史を教えますよ！

そういえば、日本では毎年5月が赤十字運動月間なのは知っているの？

アンリ・デュナン

1901

それから月日が経ち、これまでの人道活動の功績が認められ、第1回ノーベル平和賞を頂いたので！

わー！！

1948

赤十字平和宣言 決議

各国民が団結して、良心に従って行動するならば、戦争を防ぐことができる。

アンリ・デュナンの言葉は、現代の赤十字の中でも生きつづけているんだね！

日本の皆さんも、毎年5月には、私のことを思い出してね。

1870

プロシア軍の攻撃がやまない...

しかし私はこの赤十字の旗を信じている...!!!

私はフランス赤十字の一人々々とも向かい合った戦場で、負傷兵を小舟に乗せ川を下っていたんだ...

命を惜しむな！

フランス・プロシア間で戦争が勃発

1862

この後、戦争の悲惨さを伝える本を3年かけて書いたよ。

平和な時から、敵味方の区別なく看護する団体を作る必要性について強く訴えよう！

ソルフェリーノの思い出

翌日、ソルフェリーノからほど近い町、カステイリオーネに降り立ったアンリ・デュナン。

町の教会は、野戦病院になっていた。

我々の働き、オーストリア兵をなぜ救くんだ？！

傷つた者に、敵も味方もありません。人間はみな兄弟です！！

この時、私は引かず、仕事でこの町を訪れたんだ。あまりの惨状に、いともたやすく、反撃する町の人を説き伏せ、救護隊をつくらした！

6月24日、オーストリアのソルフェリーノでは、15万ものフランス・サルズニアの連合軍と、17万のオーストリア軍が激しく戦っていたんだ...

災害対策本部の運営訓練を実施

東京都支部は3月2日、「災害救護実施対策本部運営訓練」を実施しました。この訓練は大規模災害発生時にも被災支部が効率的に指揮・運営できることを目的としています。

朝8時に大地震が発生した想定で職員は支部に徒歩で参集。実際の災害さながらに緊張感をもって訓練を行いました。参加者からは「災害を意識して訓練できた」「部門間の情報共有の意識をもっと持つべきだった」などの声が出されました。



より円滑な活動のための訓練直後の振り返り

「苦しんでいる人を救いたい」世界各国で活動する赤十字職員



通訳役もこなす避難民ボランティアの方と

2017年8月以降、ミャンマーから68万人以上もの避難民が押し寄せているバングラデシュ。NT (vol.16) でも現状をお伝えしましたが、都内の赤十字病院産院からも医師・看護師が派遣されています。

1月5日～2月22日に派遣されていた武蔵野赤十字病院の梅野幸恵看護師は出発前、「避難民自身が感染症を予防できるよう、正しい手洗いなどの保健衛生についてアドバ

イスしたい」と語っていました。現地では、各国赤十字社のスタッフとともに診療活動や保健衛生活動に従事しました。

帰国後、梅野看護師は「避難している人たちが自分達の力で困難から立ち上がり、健康を維持できるよう寄り添った支援の継続が重要だと感じています」と語りました。

梅野看護師の後任には葛飾赤十字産院の森本香名助産師が3月20日まで派遣。また、フィリピンのセブ島での開発協力には2月14日から6か月間、武蔵野赤十字病院の加藤加奈子看護師が派遣されています。



バングラデシュ赤新月社の若手看護師にもレクチャーしました

「私たちは、忘れない。」プロジェクトに多くのご賛同



(一社)日本モデルエージェンシー協会の岩田佳典理事長



日本赤十字社は東日本大震災が起きた3月を中心に、過去の災害の教訓や支え合いの経験を忘れることなく未来へ引き継ぎ、1人でも多くの人が災害への対応力を高めるため、「私たちは、忘れない。」～未来につなげる防災・減災プロジェクト～を展開しています。

今年は、東京都支部の呼びかけに応えた47社・団体からご協力をいただきました(全国では3月7日時点で347社・団体)。



テレビ東京ホールディングスCSR推進委員会 原田和幸委員

災害からの学びを未来へ
「3.11を忘れない」フェス開催

目黒星美学園の生徒たちが災害時のトイレ問題を発表

東日本大震災から7年となった3月11日、東京都支部は都内で『「3.11を忘れない」ボランティアフェスティバル』を開催しました。

当日はいわき市に住む浪江町民の「なみえ絆いわき会」のメンバーや赤十字奉仕団から被災体験などを語っていただきました。目黒星美学園中学高等学校の生徒たちは災害用携帯トイレづくりを実演。参加者からは「あらためて被災者に寄り添いたいと思った」「自分たちが被災した時のことを考えて準備したい」との声が寄せられました。

平成30年度事業計画を承認
東京都支部評議員会

平成29年度第2回日本赤十字社東京都支部評議員会が2月13日、都支部で開催されました。川澄俊文副支部長(東京都副知事)をはじめ、評議員、監査委員など総勢55人が出席し、平成30年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

評議員会は、評議員や本社代議員の選出や事業計画・予算・決算などについて審議。年に2回開催されます。



開会を宣言する川澄俊文副支部長(東京都副知事)

日本における
赤十字活動のルーツを訪ねて

日赤本社前にある救護看護婦立像の前で

東京都支部創設130周年を記念して、都支部では赤十字奉仕団員を対象に「都内赤十字ゆかりの碑」視察研修を開催しました。2017年11月から今年1月にかけて全13回、561人が参加し、都内に点在する“赤十字スポット”をめぐるしました。

参加者からは「実際の場所をめぐって、より赤十字への理解が深まった」「皆で楽しみながら学べた」などの声が寄せられました。

感動の再会！
三首都交流プログラム同窓会

青少年赤十字三首都交流プログラム同窓会が1月27日、東京都支部で開催されました。東京、ソウル、北京の青少年赤十字メンバーの交流を目的に始まった同プログラムが今年度で15回目を迎えたことを記念し、初の開催。同行した先生や赤十字職員も含め総勢72人が参加しました。

今年度ソウルで行われたプログラムの報告や各学校での取り組みなどが紹介され、交流を深めました。



過去15回72人の参加者が世を超えて交流

K-POPグループ「14U」から
活動資金が寄せられました！

右からビエスさん、ドユルさん、インソルさん

K-POPグループ「14U」(ワンフォーユー)の皆さんから1月17日、赤十字活動資金の寄付が寄せられました。この寄付金は年末に開催したライブ会場で、絵はがきを販売して集めていただいたもの。メンバーのインソルさんからは「この寄付金はファンの方々から私たちの思いに賛同してくださって集めることができました。少しでも世の中のお役に立てれば嬉しいです」とのメッセージもいただきました。

「落語で学ぶ終活のいろは」
赤十字終活セミナーを開催

東京都支部は1月29日、「赤十字終活セミナー」を開催。約50人が参加しました。落語家の三遊亭楽生師匠と終活バンク株式会社の石丸裕美さんから、人生を笑って過ごす大切さや相続・遺言のポイントを落語やトークセッションで楽しく教えていただきました。

参加者からは「久しぶりにこんなに笑った」「内容もとても分かりやすかった」との感想をいただきました。



落語で楽しく終活を学びました

地元・新宿区のマラソン大会に
救護ランナーとして参加

1万人を超えるランナーの安心・安全を守りました

東京都支部は1月28日、第16回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンに救護ランナーとして参加しました。赤十字に所属するボランティア、災害救護等に関するパートナーシップ協定を締結している国士舘大学の救急救命士と学生が2、3人でチームを組み、5つの区間に分かれAEDや応急手当キットを携帯して走りました。大きなけがや事故もなく、レースは無事に終了しました。



1:カウンターキッチン。ライトは雲の形をデザイン 2:新しいリビングに子どもたちは興味津々 3:オリジナルデザインのカーテンとラグ。表裏で色と柄が違うカーテンにぐるぐる 4:カーテンの模様は、親が子を抱く姿を抽象化したデザイン 5:プライバシーがきちんと守られる心理室 6:南向きで日当たりの良い園庭 7:東京都日赤紺綬有功会、平成29年度東京都赤十字大会参会者からの寄付により設置されたウッドマウンテン 8:旧園舎の居室



目の前で調理した料理をみんなでいただきます！



翼とハートを表現したロゴマーク
子どもたちの成長への希望を託したデザイン



モダンな園舎外観

子どもたちの健やかな成長を願って 「赤十字子供の家」がリニューアル

日赤東京都支部が運営している児童養護施設「赤十字子供の家」。施設の老朽化等が深刻化したことから移転新築して、リニューアル。1月に無事、引っ越しを済ませました。新園舎のデザインは、日本赤十字社とパートナーシップを結んでいる多摩美術大学のご協力をいただきました。また、新築の費用については、東京都日赤紺綬有功会からのご寄付のほか、たくさんの方々の善意によって支えられました。さらに、新しい募集方法として、クラウドファンディング（インターネットを活用した募金方法）を活用して広くご協力をお願いしました。

キーワードは 「家庭的な雰囲気」

新園舎は、心や身体に傷を受けた子どもたちが「安心安全な生活」を通して信頼できる大人がいることに気づき、生きていく力の源になるようにという願いから、環境設定にこだわりました。

キーワードは「家庭的な雰囲気」。一般家庭で暮らすように、各グループの部屋には玄関を設置。リビングにはカウンターキッチンが設けられ、子どもたちの目の前で食事が調理されるようになりました。以前は別室で作られていたため、子どもたちはできあがった料理しか知りませんでした。日々食材を調理する様子を目にしながら調理できるというメリットも。

子どもたちの プライバシーにも配慮

臨床心理士が心理治療を行うための心理室を事務棟に設け、子どもたちのプライバシーを守る環境も整備されました。将来的

に高校生まで受け入れることも想定し、個室も作りました。子どもたちは集中して遊びたい時など、自分の空間があることに喜びを感じています。

開放的で光あふれる温かい空間での新生活に心を弾ませる子どもたちですが、一方で、これまで生活してきた旧園舎も名残惜

しいもの。旧園舎の解体現場を見に行った時、「ありがとねー」と、今まで過ごした園舎に感謝の言葉をかける場面もありました。皆さまのご支援により完成した新しい子供の家で、子どもたちが立派に成長してくれるよう、今後も寄り添っていききたいと思



プレオープン（2月4日）
寄付者の皆さまへの内覧会を開催しました



竣工式（2月1日）

寄付者の声

- 「武蔵野市で生まれ育ち、今は赤十字のボランティアとしても活動しており、ご縁を感じています。今回、子供の家が新しくなることを知り、生きている間に二度とない機会と思い、少しでも力になれたらと思い寄付しました」
(櫻井裕之さん)
- 「このような生活をしている子どもたちがいるということを初めて知り、その方たちのために役立てるのであればと思います。旧園舎も見学しましたが、新園舎を今回内覧して想像以上に綺麗で素晴らしいと思いました」
(菊池祐二郎さん)

平成30年度 東京都支部歳出予算内訳		
救護・救援活動	356,007千円	24.7%
奉仕団・青少年赤十字の支援	187,583千円	13.0%
救急法等講習会の実施	77,670千円	5.4%
献血推進	20,721千円	1.4%
看護師養成	14,400千円	1.0%
赤十字会員(社員)の加入促進	190,326千円	13.2%
広報活動	61,923千円	4.3%
社会福祉施設の運営	37,048千円	2.6%
社屋修繕	45,607千円	3.2%
災害等積立金	114,000千円	7.9%
活動の運営管理	334,715千円	23.2%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しています。

Vision 4 未来につなぐ

関係者とのつながりを 大切な財産として育てていきます

多くの人との関わりが私たちの財産です。この財産をしっかりと引き継ぎ、将来にわたって多くの方々に協力いただけるよう取り組みます。活動分野や世代の違う方々がつながっていけるよう、組織横断的な活動やイベントを通じて連携を強め、良好な環境と雰囲気を醸成します。

人とのコミュニケーションの一つひとつを管理・継承することで、過去のエピソード、成功、失敗の記録なども含めて、組織の経験・知見として残します。この取り組みによって、担当者が変わってもコミュニケーションの質を落とすことなくお付き合いを継承していけると考えています。



■ 東京都支部がめざす10年後の姿

様々なパートナーと共鳴し、社会の共感を得ながら、人々に信頼され、安全、安心を与え続けられる存在。

■ 東京都支部 近未来ビジョン130のスローガン

人が支え合う安全、安心な社会づくりに貢献するために、赤十字はヒタムキに、ジミチに取り組みます。

■ 4つのビジョン



Vision 3 社会と共生する

地域の方々が安心できる 暮らしの実現に貢献します

現在、多くの地域で高齢化が課題となり、地域における互助や支援体制の整備が必要とされています。そうした地域社会のニーズに対して赤十字が持つノウハウを活かして貢献します。

地域赤十字奉仕団や、地元に影響力を持つ協賛委員の方々を対象に健康生活支援講習を行い、その知識と技術を得た多くの方々とともに地域で支援活動を展開します。

赤十字救急法等の講習を普及する中で、ボランティアリーダーとして活躍できる人材を育て、オリンピックTOKYO 2020大会の成功にも貢献したいと考えています。



地域に根ざし、ともに課題解決できる関係をめざして

私たちは赤十字の理念に共感してくださる方々とともに、平成30年度もヒタムキに、ジミチに歩んでいきます。

私たちは赤十字の理念に共感してくださる方々とともに、平成30年度もヒタムキに、ジミチに歩んでいきます。

日本赤十字社東京都支部は、平成29年度に創設130周年を迎えたことを契機に『日本赤十字社東京都支部近未来ビジョン130』を策定し、私たちが10年後にありたい姿やその達成に向けたスローガン、重視する要素として4つのビジョンを掲げました(P.11参照)。

ビジョンに基づく私たちの取り組みを通じて、人々が安心して暮らすことのできる社会づくりに貢献していくことが、私たちの使命の達成につながると思っています。

Vision 2 人の力を集める

より多くの人の共感を集め、 参加しやすい赤十字をめざします

赤十字の活動は多くの人の支えがなければ取り組むことができません。多くの人が参加でき、協力したいと思っていただけの姿を示します。

そのために、誰でも参加しやすい清掃活動の「クリーンプロジェクト」を都内各地域で展開するとともに、若い世代が地域でボランティア活動に参加しやすい環境の構築を進めます。

赤十字ブランドの確立に向けた広報展開や、会員の方々との距離をより良いものにするため、密なコミュニケーションを基軸とした関係づくりを進めます。



Vision 1 災害と向き合う

大災害発生時の対応力と 地域防災力の向上に寄与します

大災害時における職員の能力向上に加え、地域の人々への防災・減災の普及に努めます。

災害救護活動を円滑に行うため、職員の習熟度に応じた訓練・研修体系を構築して効率的に人材育成を進めるとともに、必要な資機材を整備します。訓練等を通じた検証に基づき、対応計画の深化を図ります。

企業・団体や学校、自主防災組織などを対象に防災教育を積極的に展開し、地域の防災力向上をめざします。新たな取り組みとして、非常用(簡易)トイレの普及事業に着手します。



平成30年度 事業計画

Keyword
「地域」

特集

地域を支えるチカラ

～まちづくりの栄養素はやさしい気持ち～

CONTENTS

01

多文化共生

さまざまな文化と共に生きる

～新大久保商店街振興組合と新宿区の取り組み～

→ p14

02

認知症と
ともに生きる

認知症の人にやさしいまちは、 すべての人にやさしいまち

～立川市羽衣町の「認知症見守り訓練」～

→ p16

03

防災と
まちづくり

「防災」を通じてまちづくり

～大田区・こうじや 糺谷地区自治会連合会～

→ p18

社会の環境は日々変化し、

私たちが暮らすまちにも大きく影響を与えている。
こうした環境のなか、それぞれのまちを住みやすく
するために、まちづくりに力を注ぐ人々を紹介する。

これらの人々に共通しているのは、誰かのために
何かしたいというやさしい気持ちが根源にあるということ。

「誰かのためになることをしたい」という思いは、
誰もが持つ自然なもの。その気持ちが、
それぞれの「まちづくり」の根底にある。

やさしい気持ちは“まちを作るチカラ”になることを、
この特集を通してお伝えしたい。



留学生向けの書道教室。出身国「ウズベキスタン」を漢字で



商店街には51か国の国旗をあしらったフラッグが並ぶ。「ようこそ」と書かれている



日本・韓国・ベトナム・ネパールの、事業者交流会にて

武田 留学生の割合が多いベトナムの方などはコミュニティができていくので、情報を伝える工夫をしていく必要がありますね。例えば、「外国人が夜遅くまで騒いでいる」と苦情が来ることもありますが、それは日本では迷惑になると、きちんと

多文化共生における課題は？
内野 新しく来た方は、日本のマナーや生活習慣を知らないため、長年お住まいの住民とあつれきが生じることも。それを解消するためには、コミュニケーションが大切だと感じています。区では、例えばゴミの分別については11か国語でリーフレットを配布しています。区の情報紙などは、商店街のお店に置かせていただくなど、地域のご協力もいただいています。

習慣の違いを知ってもらう

日本人・外国人を問わず誰もが安心して暮らせる多文化共生の街をめざしています。
武田 新大久保商店街は、まず韓国の店が増え、いまはベトナムやネパールの住民・留学生が増えたことからアジア系の店が増えています。

武田 ゆかたまつりを実施した際には、着物屋と日本語学校に協力してもらい、留学生に浴衣を着てもらうなどの企画を立てたことも。このほかに、日赤さんと日本語学校が協力し、心肺蘇生などを留学生に教育する企画のサポートもしています。

内野 交流会では、ベトナムやネパールの方々に、日本での生活で困っていることなどを話してもらい、日韓のメンバーがアドバイスしました。同じ商店街の仲間として、「顔の見える関係」づくりにつながればと思います。

日本の伝統文化を体験しよう

新宿区における多文化共生の取り組みについて教えてください。
武田 新宿区と協働して日・韓・ベトナム・ネパールの4か国が参加する事業者交流会を開いています。参加国を増やして、いずれはインターナショナル会議にしたいです。

内野 商店街は、さまざまな人が交流する場でもありますよね。地域での多様なご意見も伺えますので商店街との連携を今後も大切にしていきたいです。

武田 うちの商店街では街路灯に56本のフラッグを掲げていますが、51か国の国旗をあしらった、その国の言葉で「ようこそ」と書いてあります。日本語学校の協力を得てつくりました。私たちは、国籍・宗教・言語・人種、老若男女の区別なく受け入れる商店街をめざしています。観光客も含め、誰が来てもウェルカムな街にしたい。

誰が来てもウェルカムな街に

今後、取り組みたいことは？
内野 区の実態調査では、日本人・外国人を問わず「交流する場がほしい」との声が多く寄せられています。地域での交流の機会をさらに増やしたい。お互いの「心の垣根」を低くする取り組みができればと思います。

日赤東京都支部の所在地である新宿・新大久保と
言えば“多国籍”の代名詞のような街。
中国・韓国に加え、ベトナムやネパール
などからの留学生や住民も増えている
なか、新大久保商店街振興組合と新宿区
は協働して多文化共生の取り組み
をすすめています。



お話を伺った
武田一義・新大久保商店街振興組合事務局長
(左)と内野桂子・新宿区地域振興部多文化共生推進課長

01

多文化共生

さまざまな文化と 共に生きる

～新大久保商店街振興組合と新宿区の取り組み～

顔の見える関係づくりを
多国籍化の現状は？
内野 新宿区には3月1日現在、130の国・地域から約4万2千人の外国人が暮らしています。人口の12%、およそ8人に1人の割合です。多言語での情報提供を充実させることなどにより、

認知症役とサポーター役が突撃訪問

「認知症見守り訓練」とは、参加者が認知症役とサポーター役になって3、4人で一つのグループを作り、町内のお宅を1軒1軒訪問するというもの。訓練のお知らせは事前に配布していますが、住民は突然、認知症の人の訪問を受けることになります。もちろん台本はなし。

「すみません、友人の家に行くうと思っ出てかけてきたのですが、ここはどこですか?」「えっ!? 友人のお名前は?」「名前…?」など、しどろもどろのやりとりが交わされます。

「警察と一緒に行きましょうか?」「近くに地域包括支援センターがあるけれど、分かりますか?」など会話が一段落したところで、サポーター役が対応についてアドバイス。あわせて、立川市の連絡窓口(市役所や地域包括支援センターの連絡先)をお知らせして「突撃訪問」は終了となります。

参加者からは「訪問に戸惑っているお宅もあったが、自分も(認知症への)対応に不安がある」

と実感のこもった声や、「地域の方の対応がとても良かった」「やさしいまちであると感じた」などの感想が寄せられています。

地域住民のつながりが成功の秘訣

この「見守り訓練」は福岡県大牟田市で始まりました。認知症高齢者のグループホームがある地域で、認知症の方が行方不明になったことがきっかけです。見守り訓練の中心となっている「三多摩健康友の会」※2の千田富子副会長はグループホーム勤務時代、入所者の無断外出に悩んだことがあり、自ら大牟田の訓練に参加し、「羽衣町でもできる」と確信、実施を提案しました。

『「街角声かけ訓練」の方式もありますが、『訪問声かけ訓練』方式の方が小規模でも始めることができます」と千田さん。参加者の募集からチラシの全戸配布など、結果的に自治体全体のイベントになるのも「訪問声かけ」方式の魅力だと言います。

訪問された側の住民は、認知症役やサポーター役に知った顔があるので、安心してとっさの

ルールプレイに対応できます。日頃からの住民同士のつながりがあってこそ実施できる訓練だといえます。

認知症への理解を広げたい

千田さんが勤務していたグループホームでは、入所者に洗濯や料理などを担当してもらい、認知症の人とも一緒に商店街に買い物に出かけています。また、「友の会」としても認知症予防教室を開催。認知症の理解にむけたふだんの取り組みが、「見守り訓練」の土台にはあります。

「訓練を続けて来られたのは参加者からの励ましの声。とりわけ自治会の役員さんたちが『やって良かった』と言ってくれます。訓練を重ねることで、地域の人々の認知症への理解も少しずつ進んでいると感じます。認知症は不便だけれど、不幸ではないはず。認知症は、実は社会の問題なのではないでしょうか」と千田さんは語ります。

「認知症の人にやさしいまちは、すべての人にやさしいまちにつながります。訓練を通じて住民同士のつながりがさらに強まる」といいます。

※2 三多摩健康友の会…地元の病院や介護施設に通う患者・利用者やその家族、住民などで作る自主的な組織。病院と共同して大腸がん検診の推進、健康体操、認知症予防教室など、住民の健康づくりと居場所づくりに取り組んでいる。

02

認知症と
ともに生きる

認知症の人にやさしいまちは、 すべての人にやさしいまち

～立川市羽衣町の「認知症見守り訓練」～

「地域包括ケアシステム」※1のキーワードの一つは認知症。日本赤十字社も地域包括ケアシステムにおける「生活支援・介護予防」分野への貢献として、健康生活支援講習の活用など、自助・互助の力を高めていこうと取り組んでいます。そうしたなか、立川市羽衣町では住民や自治会、地域包括支援センターが共同で「認知症見守り訓練」に取り組んでいます。



突撃訪問は実際に起きた時のための貴重な体験となっている



認知症見守り訓練の立役者である千田富子・三多摩健康友の会副会長



4人1グループになって町内のお宅を訪問



見守り訓練参加者にレクチャーするために事前の模擬訓練

※1 地域包括ケアシステム…高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい人生が最期まで送れるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのこと。

第4回
立川市羽衣町認知症見守り訓練
～羽衣町以外の方も参加できます!～

- 日時：2018年5月27日(日)
9時30分～13時
- 場所：はごろも中央会館
☎042-524-8601
- 詳しくは、三多摩健康友の会
☎042-523-2377

防災訓練に多くの住民が参加してくれるよう、ある町会ではお知らせの回覧板を2回まわしたという話も。町会は部会が集まって構成されていますが、自治会長・町会長や副会長が部会の班長さんに一斉防災訓練の意義と重要性を説明して歩きます。「班長さんには、リーダーがやる気になれば必ず伝わる」と話しています」と松原さん。前連合会長の吉澤満さんも、「大災害の時、役所をあてにしてはダメ。自分の命は自分たちで守らなければ。そうしたことを話すと、こちらの気持ちも伝わりますよ」と話します。

「いざという時、助けてほしい・助けたい」と思うのは、やはり知り合いや仲の良い人。だから、ふだんから声かけをしようと呼びかけています」と松原さんは言います。糀谷地区にも高層マンションが建ち、自治会・町会に興味を示さない住民も増えているそうですが、「関わりを持って

防災訓練に多くの住民が参加してくれるよう、ある町会ではお知らせの回覧板を2回まわしたという話も。町会は部会が集まって構成されていますが、自治会長・町会長や副会長が部会の班長さんに一斉防災訓練の意義と重要性を説明して歩きます。「班長さんには、リーダーがやる気になれば必ず伝わる」と話しています」と松原さん。前連合会長の吉澤満さんも、「大災害の時、役所をあてにしてはダメ。自分の命は自分たちで守らなければ。そうしたことを話すと、こちらの気持ちも伝わりますよ」と話します。

「いざという時、助けてほしい・助けたい」と思うのは、やはり知り合いや仲の良い人。だから、ふだんから声かけをしようと呼びかけています」と松原さんは言います。糀谷地区にも高層マンションが建ち、自治会・町会に興味を示さない住民も増えているそうですが、「関わりを持って

※糀谷地区自治会連合会…大田区糀谷地区の10の自治会・町会で構成。毎年9月に連合運動会、11月に一斉防災訓練を実施している。こうした行事を通じて醸成された糀谷地区の結束力は、区内でも注目を集めている。



消火器訓練のようす。外国籍の住民も積極的に参加



一斉防災訓練で応急手当を体験する参加者

リーダーが熱意を語ろう

大田区^{こうじや}の糀谷地区では自治会連合会を中心に、防災の取り組みを積極的に進めています。連合会が毎年実施する一斉防災訓練には約3000人が参加。連合運動会でも「防災バケツリレー」を種目に取り入れるなど、防災をまちづくりに生かしています。



町会対抗の防災バケツリレー。みんな真剣

03

防災と
まちづくり

「防災」を通じてまちづくり

～大田区・糀谷地区自治会連合会～



松原茂登樹・
糀谷地区自治会
連合会会長(右)と
吉澤満・前連合
会長

自治会連合会で一斉防災訓練

糀谷地区自治会連合会※が防災に力を入れてきたのは、20年ほど前、吉澤敬地^{ひろみち}元連合会長の時代から。大きな防災公園も整備し、それまで自治会・町会ごとだった防災訓練を連合会全体で実施するようになりました。

松原茂登樹^{もとつき}連合会長は阪神・淡路大震災の翌年、町会長に就任しました。「大震災が起きたら広域的に被害が出る。防災訓練も大震災を想定して、自治会・町会ごとでなく一斉にやろう」と呼びかけました。ねらいは2つ。自治会連合会全体で取り組むことで、町会ごとに競う気持ちが生まれ活性化すること。そして、統一感や連帯感が強まること。糀谷地区には10の自治会・町会がありますが、そのメンバーが一同に会することで「顔が見える関係」づくりにつながると考えました。

訓練がマンネリ化しないよう、消防庁の防災ヘリや自衛隊の炊事班を呼んだり、ベニヤ板の小屋を燃やし、各町会の代表がバケツリレーで消す訓練を行ったことも。「大田区が実施する総合防災訓練に負けていない内容だと思

おかないと、災害時に1人では助からないよ」「自分は絶対に大丈夫」なんてありえない。助けてもらうことも想定しよう」と呼びかけ、防災訓練などへの参加を促しています。

糀谷地区ではこのほか、学校防災活動拠点訓練も実施。各町会の代表などが集まる防災会議も年2回開催しています。そこで大田区の防災対策を学んだり、日赤東京都支部の減災セミナーを実施したことも。今年は「東日本震災の被災地から学ぼう」と、大田区の友好都市である東松島市(宮城県)を訪れ、津波の実体験を聞いてくる予定もあるそうです。

自分たちの手で防災を

「役所がやってくれる」という意識を捨て、自分たち自身の手で防災やまちづくりをしていきたい。これまで『防災のまち糀谷』をスローガンに取り組んできましたが、今後はさらに、子どもや高齢者、障害者、外国人など誰もが住みやすい『福祉のまち糀谷』もめざしていきたいと思っています」——松原さんは最後に、自治会連合会長としての思いをことう語ってくれました。



武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、CCU 6床、SCU 9床、NICU 6床、GCU 12床、感染症20床)

耳鼻咽喉科
頭頸部外科部長

大野 十央
Kazuchika Oono



「頭頸部外科」を知っていますか？

鼻や喉も内視鏡手術が可能に

「頭頸部外科」って、聞いたことがありますか？「頭頸部」とは頭蓋底から鎖骨までの構造の総称です。この領域の病気では手術治療が中心になります。

「頭頸部」の病気を担当するのが頭頸部外科です(脳、脊髄、眼は除きます)。

この頭頸部にできるがんを頭頸部がんと言います。頭頸部がんは、胃がん、大腸がん、肺がんなど、他のがんに比べて発生頻度は少なく、すべてのがんの5%程度と言われています。しかし、鼻、副鼻腔、耳下腺、舌、喉頭、咽頭など種類が非常に多く、発生原因や治療法、手術後の経過もそれぞれ異なるのが特徴です。

生活の質に大きく影響

頭頸部には発声や嚥下などQOL(生活の質)に関係する器官が多く含まれているため、手術で摘出してしまつとその後の生活に大きな影響を及ぼします。そこで近年、機能温存を目的とした化学放射線治療の重要性が増しています。

現在は、新たに分子標的薬も承認されつつあり、治療の選択肢は増えてきています。当科では頭頸部がん専門医の私と2人の医師で診療にあたっていますが、日々力

ンファレンスを行い、患者さんそれぞれに適した治療法を選択するようにしています。

内視鏡手術も普及

手術に関しても低侵襲(傷が小さく、体への負担が少ない)内視鏡治療が耳鼻科領域でも増えています。以前から行われていた鼻・副鼻腔手術に加え、最近は咽頭表在がん、さらには甲状腺も内視鏡を使った手術が可能になりました。

内視鏡治療は、ある程度の経験が必要とされる治療ですが、当科では早くから甲状腺内視鏡治療に着目して導入したため、通常の頸部を切開する方法と同様、安全に手術をすることが可能です。

このような治療法でも完治しない場合は、従来通り再建手術(腫瘍を切除し、欠損部位に腹直筋や腸の一部を移植する方法)を形成外科と協力して実施しています。

これからも地域の医療に貢献できるように精一杯努力していきたいとスタッフ一同、心をひとつにしています。



内視鏡手術のようす



当院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科スタッフたち



大森赤十字病院

- 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
- 連絡先 Tel 03-3775-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)
- 病床数 344床(一般326床、ICU・CCU 6床、HCU 12床)

呼吸器外科部長

池田 岳史

Takeshi Ikeda



体に負担の少ない手術法

肺がんの胸腔鏡手術に取り組んでいます！

大森赤十字病院では肺がんの手術の際、体に負担の少ない胸腔鏡手術を行っています。早期発見・早期治療と胸腔鏡手術で、早期の社会復帰も可能です。

現在、日本での死因第1位は悪性新生物(がん)です。その中で肺がんには代表される肺の悪性新生物の割合は男性で1位、女性では大腸がんに次いで2位となっています。今後10年の肺がん患者は男女ともに増加を続けると予測され、年齢別では75歳以上の死亡割合が増加すると予測されています。

早期の社会復帰も可能

当科では肺がんに対して胸腔鏡(カメラ)を使った低侵襲(傷が小さく、体への負担が少ない)手術に取り組んでいます。

この手術により痛みや体への負担を少なくすることで、早期に社会復帰できることが期待されます。また、高齢者には負担が大きいのではという不安からためらっていたような手術でも、楽に受けていただけるようになりました。カメラを入れる傷も含めて手術に必要な傷はたったの3つだけ。非常に小さい傷で行うため、驚くほど回復が早いことを実感しています。

禁煙のススメ

喫煙は肺がんの最も重要な原因とされています。男性喫煙者は、非喫煙者に比べ死亡率は4.5倍、女性では4.2倍とされ、喫煙者が非喫煙者並みの発症リスクまで低下させるには20年以上の禁煙が必要とされています。喫煙は手術の際に大きなリスクにもなります。早期の禁煙をおすすめします。

早期発見、

早期治療が大事

肺がんも早期発見、早期治療が重要です。がんが小さければ小さいほど、病気の進行が早期であればあるほど、安全に胸腔鏡手術を行うことができます。症状がなくても定期検診をきちんと受けることが大切です。

現在、肺がん治療に最も有効なのは手術です。当科では体に負担の少ない手術に取り組んでいます。「高齢だから心配」「体力に自信がない」など治療に不安のある方は、お気軽にご相談ください。



筆者(左)が胸腔鏡手術を行っているところ



胸腔鏡手術に取り組む筆者(左)と飯田崇博(たかひろ)医師



JRC KATSUSHIKA MATERNITY HOSPITAL

葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211 (代表)
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床 (産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

ママ・パパの子育てを応援したいとの思いから当院では、子育てのサポーターであるおじいさま・おばあさまを対象にした「グラン子育て教室」を開催しています。

孫育てを応援したい！ 「グラン子育て教室」開催中

グラン子育て教室には、「これから生まれてくる・生まれたばかりのお孫さんのために何かしたい！」という思いを持った方が多く参加されています。

新たな世代の育児の ちからになるために

小児科医師からは、今と昔の育児の違いなど子育て全般について、助産師からは、発熱時などの対応やスキンケア、母乳育児、実際にどのようなサポートが必要かを話し、抱っここの仕方やお風呂の入れ方については人形を使用して演習を行っています。

現在の日本は核家族が多く、生活の中でおじいさま・おばあさまと一緒に子育てをしていくことが難しくなってきました。しかし、人生経験が豊富なおじいさま・おばあさまは、そばにいてくれるだけで安心感につながり、経験や知識を持って育児の方法を教えられる貴重な存在です。

産後1か月だけ里帰りまたは手伝いをする、同居はしていないが

近所に住んでいる、遠方にいるが何かやれることはないかと考えているなど、事情はさまざま。グラン子育て教室では育児の現状をお伝えしながら、参加者が「育児をどうサポートしていこうか」を考える場になるよう進めています。

まず、育児の主役となるママとパパが何を手伝ってほしいと考えているのか、その期待に対してどんな支援ができるのかを話し合うことが重要です。具体的には、授乳以外のおふろや抱っこ、家事全般などの助けや、ママ・パパの時間を確保するための子守りなどがあります。そんな時にどう支援すればいいかをお伝えしています。

お孫さんとの関わりは楽しい反面、子育てに必要以上に介入することで迷惑がられてしまったり、逆に頼られ過ぎて自分の時間がなくなり、子育てに疲れてしまったりする方もいます。ご自身の体調や趣味の時間を大切にしながら、みんなで楽しく「孫育て」ができるといいですね。

(看護部助産師 前田祐希、金井早苗)



抱っこの練習のようす



小児科医師から今と昔の育児の違いについて説明

Hospital
Referral



一部献血ルームの受付時間と定休日が変わります!

4月15日(日)の新宿東口献血ルームの閉所に伴い、下記の4ルームで受付時間と定休日に変更になります。
ご来所の際はご注意ください。引き続き、皆さまのご協力を職員一同お待ちしております。

4月5日(木)から変更

立川 献血ルーム

変更前 全血 10:00～12:45 14:00～17:45
成分 10:00～12:00 14:00～17:00
定休日 ビル休館日、12/31、1/1

変更後 全血 10:00～17:45
成分 10:00～17:00
定休日 ビル休館日、12/31、1/1



職員から一言

ノスタルジックだけど、なぜかホッとする立川献血ルームで皆さまのご来所をお待ちしております。

akiba:F 献血ルーム

変更前 全血 10:00～12:15 13:30～17:45
成分 10:00～11:30 13:30～17:00
定休日 12/31、1/1

変更後 全血 9:30～18:00
成分 9:30～16:30
定休日 12/31、1/1



職員から一言

広々としていくつろげる未来型献血ルームです。都内随一を誇る3000冊のコミックスもお楽しみください。

4月16日(月)から変更

新宿東口駅前献血ルーム

SHINJUKU HIGASHIGUCHI EKIMAE BLOOD DONATION ROOM

変更前 全血 10:30～12:45 14:00～18:15
成分 10:30～12:00 14:00～17:00
定休日 毎週水曜日、12/31、1/1

変更後 全血 10:00～18:30
成分 10:00～17:00
定休日 12/31、1/1



職員から一言

新宿駅や西新宿の高層ビルを眺められる展望の良い献血ルームです。皆さまのご来所をお待ちしております。

献血ルーム 新宿ギフト

変更前 全血 10:00～12:15 13:30～17:45
成分 10:00～11:30 13:30～17:00
定休日 毎週火曜日、12/31、1/1

変更後 全血 10:15～12:45 14:00～18:00
成分 10:15～12:00 14:00～17:00
定休日 12/31、1/1



職員から一言

献血は輸血を待つ人への大切な贈り物。小さなアトリエのような空間へ、ぜひお越しください。

東京都内には13の献血ルームがあります。また、献血バスを各所に配車しています。
詳しくは東京都赤十字血液センターホームページをご覧ください。

献血 東京

検索

産休サンキュープロジェクト

～生まれてきた赤ちゃんの初めての社会貢献～



「保健」「防災」に関するアニメ映画を通じた健康教育



南スーダン難民の女性に対し、生理用品一式を配付



HIV 孤児に対する就学支援。制服や文具、衛生用品、食糧等を支給



街中でHIV検査を実施。陽性者に対する治療や生活支援、感染症予防の啓発など

日本赤十字社はいただいたご寄付で、東アフリカ地域、南部アフリカ地域において次のような活動を支援しています

世界では5歳未満の乳幼児死亡者数は年間約660万人にものぼり、約5秒に1人のペースで子どもの命が失われています。特にサハラ以南のアフリカや南アジア、大洋州などで厳しい状況が続いています。

5秒に1人、失われる命を救いたい

誕生する我が子と同年の子どもたちが、生まれた場所が異なることで、日々命を失っていく——そんな現状に、どうぞ目を向けてください。

こうした国々における子どもたちの主な死亡の原因は、はしか、マラリア、下痢などです。また、出産で命を落とす妊産婦は年間約30万人。主な死因は産後の出血、感染症、妊婦高血圧症などで、妊産婦死亡の99%が開発途上国で起こり、改善されつつあるものの、いまだに世界では2分に1人のペースで妊産婦が命を落としています。日本のような高度な医療サービスがなくても、計画的な予防接種と安全な飲み水の提供、病気を予防する知識の普及、定期的な妊婦検診、

医師のいる清潔な病院で出産を行うことで、死亡率を下げるができます。日本赤十字社は、この失われる命を救うため、産休サンキュープロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは協力企業・団体が社員の出産を機に、社員の出産人数分を日本赤十字社を通じて開発途上国の子どもとお母さんに寄付することで、一緒に子どもたちを育てていくもの。あわせて日本での産休・育休の推進もめざしています。※企業・団体のご参加が対象です。個人の方は、Yahoo!ネット募金からの寄付をお願いします。

ザンビア国チブラ学校生徒からのメッセージ

僕たちの学校には、HIV／エイズで両親を亡くし、経済的に貧しい生徒がたくさんいます。破れた服で通学するのが恥ずかしくて学校に行けなかった僕たちに、赤十字が制服や文具などを支給してくれたおかげで、多くの生徒が学校に通えるようになりました。経済状況に関わらず、みんな同じ服(制服)を着て勉強できるんです。



プロジェクト問い合わせ先

日本赤十字社国際部開発協力課 産休サンキュープロジェクト担当
電話 03-3438-1311(代表) E-mail sankyuthankyou@jrc.or.jp

武蔵野赤十字保育園

人形劇を観劇したよ！ 「花かご座」からの贈り物



「あの人形、動いてる！しゃべってる!!」

次の展開に興味津々



武蔵野赤十字保育園では先日、0歳児～5歳児クラスの全員で人形劇を観ました。保育園に来てくださったのは、「人形劇・花かご座」のみなさん。年に1度、子どもたちのために来園してくれます。今年の演目は5つ。「くまさん・くまさん」「つるになったきつね」「たんじょうびのおくりもの」「うさぎさんのにんじんほり」「もんちゃんのおさらまわし」でした。

0歳児も最後まで集中

子どもたちは、くまさんが登場すると、「しずかにみます」というお約束も忘れて大騒ぎ！きつねさんがお母さんへの誕生日プレゼントの、四つ葉のクローバーを探す時には、「あっちにあるよ～」「そっちじゃないよ、こっちだよ」とみんなで指さして教えてあげました。うさぎさんがにんじんを掘り出す時には、「うんとこしょ、どっこいしょ」と園児たちも一緒に大声で応援しました。

0歳児も含め全員が最後まで、きちんと人形劇を観ることができました。0歳「たんぼぼ組」の子どもたちの持てる力が発揮された日でもありました。年少・年長さんたちも、劇に入り込みワクワクした時間を過ごしました。

赤十字子供の家

キッチンもリニューアル！ 楽しい食事の時間



赤十字子供の家は1月に新築移転し、新しい生活がスタートしました。旧園舎では、大きな厨房で全員分のご飯を作って各部屋に運んでいましたが、新園舎では部屋ごとにキッチンを設け、調理職員も配置し、子どもたちの目の前でご飯を作っています。

たくさん食べるようになったよ！

引っ越しも落ち着き、子どもたちはさまざまな顔を見せてくれます。調理職員にピッタリくっついて、味見をおねだりする子。煮物のいい匂いと共におままごとをする子。皮をむいた玉ねぎをいつまでも洗い、お手伝いする子(洋服はビショビショです)。「にんじんく～ださい」と食品庫におつかいにくる子。

みんな、食べることにとても興味があるんだと改めて強く感じています。そして、何よりもみんな良く食べるようになりました。

目で見て感じ、匂いで想像し、みんなで食べて楽しく過す。子供の家の子どもたちに、栄養士として一番経験してほしいことが少しずつできるようになり、うれしく思っています。(栄養士・国部麻実)

今日から新しいお家での生活が始まるね。いただきます！



キッチンから「はい、どうぞ！」



赤十字 Supporters

健康な体をもらったのだから 世のために役立てたい

榎本美智子さん(赤十字奉仕団東京都支部委員会会長)

私

がボランティア活動を始めたのは、両親から健康で丈夫な体をいただいたので、それを世のため、人のために役立てたいと思ったからです。それで始めたのが、地域に組織されている北区赤十字奉仕団の活動でした。

ちょうどPTAのお役目が終わって、何かやりたいなと考えていた時でした。町内会の回覧で赤十字の奉仕団員の募集が回って来たんです。それまで赤十字のことはよく知らなかったのですが、「赤十字ならやってみたい」と即入団しました。今思うと、赤十字にご縁があったのでしょね。それから43年間、赤十字のボランティア活動を続けています。

赤十字奉仕団員になってから最近まで、東京都立北療育医療センターの入浴奉仕に参加していました。障害のある子どもたちの入浴をお手伝いするボラン

※赤十字奉仕団東京都支部委員会…支部管内の76奉仕団のボランティア活動の健全な発展と奉仕団の円滑な運営を進めるための組織。



赤十字ボランティアによる減災アピール月間中のひとコマ。炊き出しを準備する榎本会長ら



これまでの活動の様子を生き生きとお話される榎本会長

ティアです。お風呂から出た子どもをバスタオルで拭いて、パジャマを着させてあげて、髪を乾かしてあげます。とても喜んでくれるんですよ。

このようなボランティアなどさまざまな活動に参加していると、学ぶことがたくさんあることに改めて気づきました。

活動資金の募集は、団員の高齢化に伴い今では町会に協力をいただきながら活動をしています。災害が発生すると被災地で活動をする救護員と同様に、活動資金を募集する我々も、赤十字の活動をしていると感じています。

平成28年度からは、東京都支部の依頼を受けて赤十字奉仕団東京都支部委員会会長を務めています。都内38地域で実施している奉仕団活動内容や他県の奉仕団活動の報告を受け、改めて赤十字奉仕団の必要性、偉大さを感じているところです。

今では、赤十字は私の生きがいです。大きな病気もせずに85歳になった今でも元気でいられるのも、赤十字のおかげだと思っています。これからも健康であるうちは、いつまでも奉仕活動が続けたいと思っています。

活動資金協力者(社)・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了承いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743まで

●千代田区		原島 富美男	10万円	(有)タミヨ窓建	15万円
(株)木村洋行	300万円	村上 幸栄	10万円	(株)アールエスエス	10万円
(一社)東京環境保全退職金共済会	106万8,719円	山崎 達彦	10万円	●葛飾区	
(株)朝日写真ニュース社	30万円	映心産業(株)	10万円	酒井 照子	10万円
翔和建物(株)	20万円	●渋谷区		島 徹	10万円
(株)ノタック	10万円	小川 とみ	100万円	新日本電興(株)	10万円
大妻中学高等学校 生徒会	10万5,533円	目黒 聡	20万円	●江戸川区	
●中央区		上條 義宏	10万円	(株)水域ネットワーク	20万円
村越 花子	30万円	(株)キャッツ	50万円	(株)タムラ	12万円
小泉 久夫	10万円	花菱不動産(株)	29万2,500円	(有)小川オートサービス	10万円
浜田 寛子	10万円	(株)ライフブラザNEO	20万円	(株)亀清	10万円
弥生興行(株)	10万円	(株)お世話や	10万円	(株)サンテックインターナショナル	10万円
(株)LEADING EDGE PLANNING	10万円	国際空手道連盟 極真会館	10万円	(有)中代経営	10万円
●港区		●中野区		●八王子市	
大迫 雄三	500万円	戸原 章子	10万円	堀江 京子	13万円
(株)インサイド・アウト	100万円	(株)TOPANGA	179万2,146円	木下 徳明	10万円
(株)SLジャパン	50万円	TCC日本語学校	10万円	鈴木 美佐子	10万円
イーパートナーズ(株)	30万円	●杉並区		(有)ビー・アイ	10万円
(株)工業市場研究所	30万円	井口 清	120万円	●立川市	
(株)フィッツコーポレーション	30万円	岡部 好延	10万円	(宗)真如苑	1,000万円
(株)プライム・オリジンズ	20万円	高橋 君子	10万円	●武蔵野市	
(株)日ノ樹	10万円	匿名	100万円	網野 弥生	50万円
(有)藤井クリーニング	10万円	昭和建物(株)	35万円	齋藤 八郎	10万円
●新宿区		●豊島区		(株)ハウズ	10万円
内堀 尚夫	15万円	アムス・インターナショナル(株)	95万7,880円	●三鷹市	
(株)放送サービスセンター	10万円	(株)神田屋鞆製作所	50万円	木村 得玄	100万円
歌舞伎町商店街振興組合	13万円	首都開発(株)	10万円	柿澤 康子	13万円
●文京区		●北区		ソリッド(株)	60万円
土屋 實	30万円	市川 政雄	10万円	●昭島市	
(株)プロシッパ	100万円	第一化学工業(株)	10万円	岩崎 五六	30万円
●台東区		●荒川区		小山 善治	10万円
高神 信也	10万円	柴本 佳子	10万円	●調布市	
●墨田区		匿名	10万円	鴨下 尚子	44万円
角谷 かつみ	20万円	(株)日新建設	10万円	晃華学園麦の会	10万円
●江東区		●板橋区		●町田市	
川島 秀正	10万円	若佐 和子・英彦・英之	15万円	匿名	50万円
坂元 左	10万円	長尾 トモ子	10万円	社会福祉法人 蓮倫会 小山保育園	10万円
(株)東合板商会	10万円	宮川 美知子	10万円	●日野市	
●品川区		(株)ランロウドオフィス	50万円	土方 フミ	10万円
日本コンピュータ・ダイナミクス(株)	45万4,000円	河島コンクリート工業(株)	10万円	●東村山市	
品川合同葬祭(株)	10万円	(株)曠淳開発	10万円	(株)一休	10万円
ベクター・ジャパン(株)	10万円	●練馬区		●国分寺市	
●目黒区		安藤 幸子	30万円	北崎 孝雄	10万円
津村 重臣	10万円	(株)野島電工	20万円	(有)キシノ	100万円
●大田区		トレンドイースト(有)	10万円	●西東京市	
尾曾 利夫	10万円	パイオニア工機(株)	10万円	新井 節子	50万円
熊倉 登久子	10万円	益田商事(株)	10万円	吉岡 優二	15万円
羽仁 滋	10万円	●足立区		新井商事(株)	10万円
太陽電業(株)	200万円	伊藤 利夫	500万円	●東久留米市	
(株)ユタカ	100万円	増山 元美	100万円	(有)松川物産	10万円
(株)サガデン	10万円	柳川 幸一	50万円	●千葉県	
●世田谷区		浅香 孝子	20万円	(株)ドリームワン	10万円
井上 桂子	100万円	梶 千草	12万円	●埼玉県	
佐橋 俊彦	100万円	飯塚 明	10万円	藤井 静江	10万円
藤森 博昭	100万円	佐々木 継男	10万円	●兵庫県	
鈴木 康司	30万円	増山 一雄	10万円	田尻 邦夫	10万円
寛 千づる	10万円	(株)エイイーエス	250万円		
高橋 隆	10万円	(有)柳川運送	50万円		

(敬称略・順不同)

Present

日本赤十字社東京都支部の協賛企業様からご提供いただいています。ご応募、お待ちしております！

A.



3名様

いやしましゅまろ

株式会社ジョイントメディア

癒しをテーマにした「いやしましゅまろ」のぬいぐるみです。「ぼくたちをみてくれたひとたちをすこしでもいやせたらいいな」

B.



容量35ml

10名様

TAEKOサンスクリーン

株式会社アーダブレン

SPF50+ PA++++。お肌と環境にやさしい日焼け止め美容液。アルカリゲネス産生多糖体のチカラで、お肌の潤いを護り下地にも最適です。ウォータープルーフなのに石けんで落とせます。紫外線吸収剤・揮発性油剤・界面活性剤など一切無添加。

C.



3名様

ティッシュカバー

ダイアナ株式会社

牛革にエナメル加工を施したティッシュカバーです。それぞれカラーグラデーションを施しています。日本製。

D.



500ml
24本入り
4名様

キリン iMUSE レモンと乳酸菌

東京キリンビバレッジサービス株式会社

プラズマ乳酸菌を配合し、爽やかなレモンの果汁感にほんのり甘さを加えた、日常の水分補給におすすめの甘さ控えめな乳酸菌ウォーター。プラズマ乳酸菌1000億個配合。低カロリー（100ml当たり17kcal）。果汁1%。

E.



500ml
24本入り
5名様

三ツ矢 エクストラリフレッシュ みかん

アサヒ飲料株式会社

ブランド史上最強レベルの炭酸感と、凍結粉碎みかんエキスのさわやかな味わいで心ゆくまでリフレッシュすることができる果汁炭酸です。

プレゼント応募方法

①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス
⑦本誌入手場所 ⑧本誌でよかった記事（複数回答可。メールの方は、はがき記事一覧から番号でご回答ください）⑨本誌の感想（100文字程度）⑩希望するプレゼント番号を明記し、メールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります！

締切は2018年5月31日必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

メール

nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

件名には「プレゼント応募」とご記入ください。

はがき

添付の専用はがきでご応募ください。

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで当支部が行う広報に活用させていただきます場合があります。製造状況等によりプレゼントの内容が変わる場合もございます。

読者の声 (vol.16)



初めての献血で、ドキドキな1日でしたが、この冊子を読んでいるんな人が献血していることを知り、「1人だけじゃない！」と勇気をいただきました。今、私は26歳ですが、これまで健康でいたのに、早い段階で献血が怖いものでも時間がかかるものでもないことを知ることができなかったのが残念です。これからは積極的に献血に行きたいです。

東京都・26歳・女性（有楽町献血ルーム）

献血しか親しみのなかった赤十字が、幅広い支援を行っていることを知り、びっくり感心しました。まさに、赤十字はジミチ。私も献血を通して、少しでも役にたきたいと再認識しました。リピーター（私の同志）の姿が見れて、より親しみがわきました。

東京都・43歳・女性（献血ルーム新宿ギフト）

バックナンバーはこちら ▶ <http://www.tokyo.jrc.or.jp/kohoshi/>

※（ ）はNTの入手場所

赤十字は、 ジミチです。

「赤十字の活動は広すぎてわかりづらい。」
と言われることがあります。

赤十字の活動は、国や状況、理由、活動の種類を
限定しません。対象は全世界の苦しむ人々です。

確かに、エリアや対象となる人々を限定して緊急性
を訴えるほうが社会の目に届きやすく、理解され
やすいかもしれません。

しかし、赤十字は世界最大の人道機関。

その組織力があるからこそできることがあります。

緊急時の支援は当然のこと、すべての脅威から
人々を守るために全世界で活動しています。

もちろん、国内でも医療や献血、そして大災害に
対する取り組みなど、皆さまの身近なところで
活動しています。

命を守るために必要であれば、スポットライトが
当たることのないジミな活動も大切にする。

これが赤十字のジミチです。

—— 皆さまからお寄せいただく活動資金はこのようなところでも活用されています。——

¥2,000で

災害時、避難所などで就寝する際
に役立つ

安眠セット



¥3,000で

避難所生活を余儀なくされた時に
必要となるアイテムが収納された

緊急セット



¥5,000で

地域の防災・減災の担い手として
期待される青少年向けに実施する

災害学習プログラム



¥10,000で

災害救護の知識と技術を習得し、
災害時に活動する

災害救護ボランティアの養成(1名)



※安眠セット、緊急セットは販売していません。

安定的なご支援をいただくことで、災害に対するより充実した事前の備えが実現できます。

赤十字では地域でのご協力や銀行振込のほかに、口座振替やクレジットカードでのご協力も受け付けています。

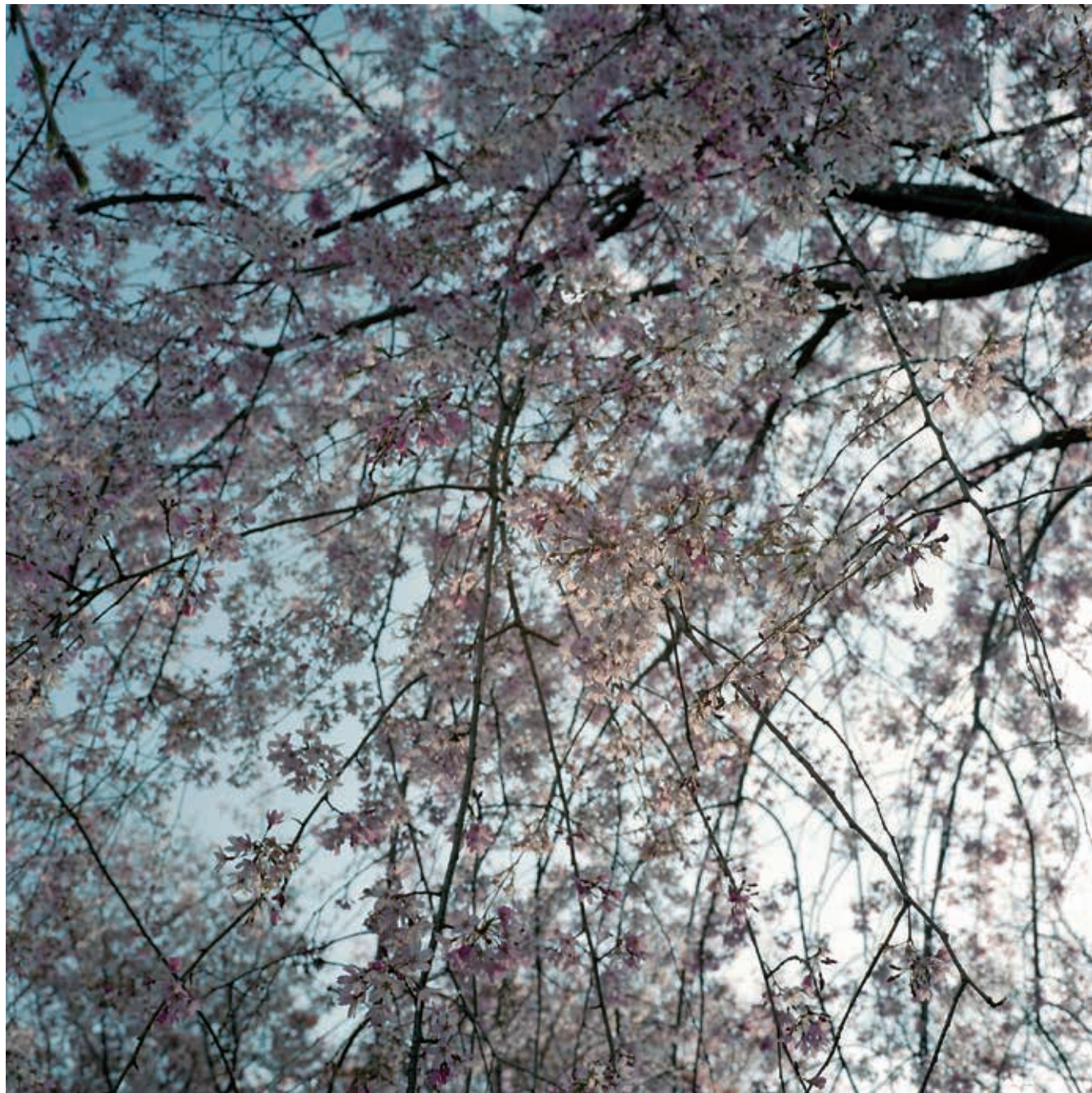
口座振替でのご協力

2,000円以上の金額で毎月または毎年、ご指定の口座からお振替します。
(口座振替をご希望の方は地域推進課03-5273-6742までお電話ください。申込
書をお送りいたします)

クレジットカードでのご協力

2,000円以上の金額で毎月・毎年・その都度ご協力いただけます。

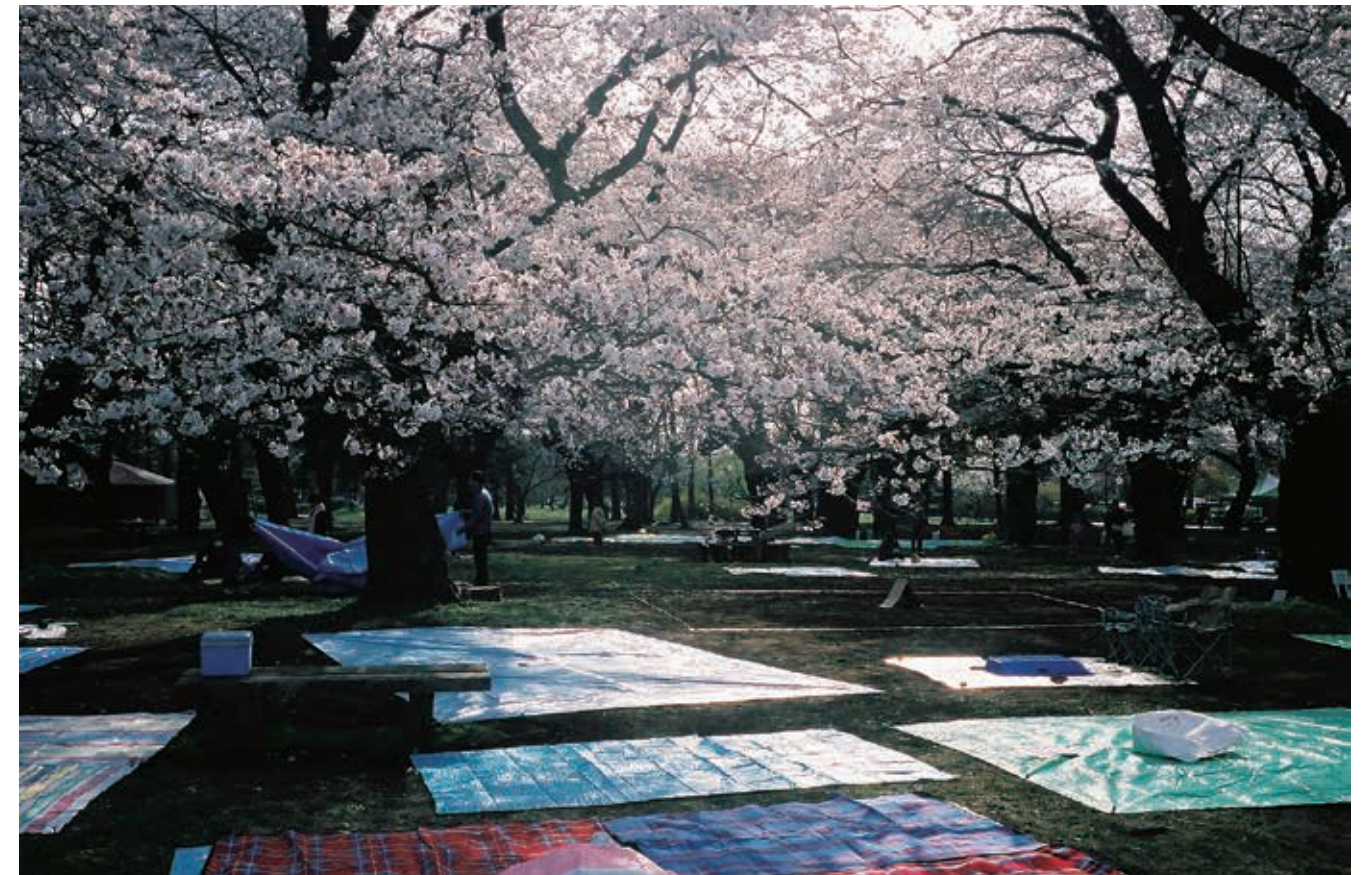
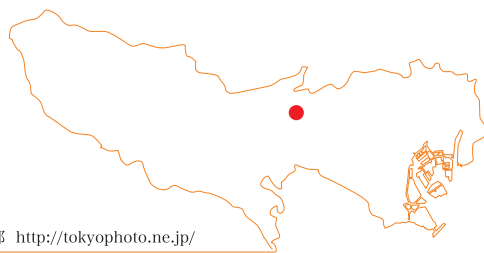
赤十字 クレジット 寄付 [検索](#)



+ 東京観光写真倶楽部 TOKYO SIGHTSEEING PHOTO CLUB

写真とはまさに「光を観ること」。東京を〈観光〉しながら撮影を楽しむことを目的とし、2005年に発足した同倶楽部は、東京諸島を含む都内各地で撮影会を開催している。部長を務めるのは、日本赤十字社契約写真家である菅原一剛氏。東京の写真撮影を続けている同倶楽部とコラボレーションした連載が、Rediscovery TOKYOです。

菅原 一剛HP <http://ichigosugawara.com/> 東京観光写真倶楽部 <http://tokyophoto.ne.jp/>



第10回 小金井市・小金井公園

新宿からJR中央線快速で西へ。小金井公園は約50種・約1700本もの桜を誇る「桜の名所」。江戸時代に玉川上水沿いに植えられた桜並木が1950年代になって道路の拡張整備などで衰退した際、名勝『小金井桜』を引き継ごうと多くの桜が植えられたのがこの小金井公園だという。桜は早朝が最も美しい。ほんの数十分だけ見せるその美しさを求め、薄暗い時間から公園へと赴く。少しずつ朝日が差し込み、桜の花びらで増幅された淡いピンクの光で園内が満ち始めると、あちらこちらからシャッターを切る音が聞こえてくる。「桜の時期は逃せない」。その思いに突き動かされた人たちが集まり、目を細めながら桜を愛でる。その気持ちはきっと、江戸の昔も今も変わらない。

講習の ご案内

水上安全法

「水の危険」を知って初めて、安全に楽しむ
ことができます。泳げない人もぜひ！

夏に多い「水の事故」を防ぐ方法を学びましょう！

Concept

夏が近づくと、水辺のレジャーが楽しみですが、水の事故が増える時期でもあります。日赤東京都支部では、泳げる・泳げないに関わらず、水の事故防止を学べる講習として、水上安全法の普及に力を注いでいます。

- 水の危険について意識を高め、「正しく怖れる」ことができるようになることが大切です。
- 水の危険や安全について個人やグループで考えることで、新たな気づきが生まれます。
- ライフジャケット着用の重要性を知ることができます。



“溺れた人を助ける”シミュレーションも。「積極的に声をかけ、救助！」



Information

短期講習

【受講対象】どなたでも参加できます。

※小学生以下の参加は保護者の同伴が必要です。

【日程】5月10日(木)

申込締切→5月1日(火)まで

【時間】14:00～16:00

【会場】日本赤十字社東京都支部

【受講費】160円(冊子・保険代)

※当日現金でお支払いください。

【申込方法】

■インターネット申込→下記URLをご確認ください。

■電話申込→「5月の水上安全法短期講習申込希望」とお伝えください。

講習のお申し込みや詳細についてはこちら

救護課講習係 ☎03-5273-6746 (平日9:00～17:30)

<http://www.tokyo.jrc.or.jp/application/suijo/w-safety.html>



WEB CROSS

電子講習室



WEB上で講習の体験、予習や復習ができる
サイトです。ぜひご活用ください！



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

東京都支部

〒169-8540 東京都新宿区大久保1丁目2番15号
TEL 03-5273-6741 (代表) FAX 03-5273-6749 <http://www.tokyo.jrc.or.jp>

Facebookも見えてね！

